

広島港国際コンテナターミナル及び

広島港^{うじな}宇品旅客ターミナルの整備

国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所
 受賞機関 広島県広島港湾振興局
 広島県土木建築部都市局

事業の概要

「広島^{うじな}の海の玄関にふさわしいまちづくりと国際港湾都市の建設」を目指し、特定重要港湾広島港の出島地区と宇品内港地区において、新たな人・物・情報の交流拠点の構築を図るポータルネッサンス21事業が、平成3年度から進められてきた。

そのうち、出島地区の国際コンテナターミナル(期)と宇品内港地区の宇品旅客ターミナルが平成15年3月に相次いで完成し、供用を開始した。

(1) 国際コンテナターミナル(期)

- ・事業期間：平成7年度～14年度
- ・施設概要：岸壁(水深14m×延長330m)1Bターミナル(92,400㎡、約3,400TEU)ガントリークレーン(40.6t)2基

(2) 宇品旅客ターミナル

- ・事業期間：平成2年度～14年度
- ・施設概要：ターミナルビル1棟
 桟橋(-6m、-4m)各1基
 その他(ふ頭用地、緑地等)

事業の特徴

(1) 国際コンテナターミナル

事業箇所は、厚さ21mの沖積粘土層が堆積した超軟弱地盤であり、岸壁築造、埋立造成とも大規模地盤改良工法をはじめとする最新の港湾技術を結集させて実施した。本体部のケーソンは高さ20m、質量2,400t/函のスリットケーソンを採用し、航跡波の反射を防止している。



空から見たポータルネッサンス21事業推進地区(広島港出島地区・宇品内港地区)



中四国で最大・最新型ガントリークレーン



正面から見た宇品旅客ターミナルビル

ガントリークレーンは、中四国で最大・最新型のもので、効率的な荷役が可能である。

本ターミナルの供用によって、広島港のコンテナ貨物取扱い能力は約2倍に向上した。今後、国際物流の促進、地域経済の活性化への貢献が期待されている。

(2) 宇品旅客ターミナル

ターミナルビルは地上3階建て、延べ床面積4,763㎡で、瀬戸内海の海上交通の要所に相応しい規模を誇る。

他の交通機関利用者の歩行移動の連続性及び安全性の強化、国際規格の絵文字による案内表示、車椅子の方の利用を考慮して、壁や柱には手摺りを2段の高さに設置するなど、誰にでもわかりやすく使いやすいユニバーサルデザインを採用している。

受賞賛助会員 (株)大本組広島支店、国土総合建設(株)広島支店、五洋建設(株)中国支店、佐伯建設工業(株)中国支店、住友重機械工業(株)中国支店、東亜建設工業(株)中国支店、東洋建設(株)中国支店、日本鋪道(株)中国支店、前田道路(株)中国支店、三菱重工業(株)中国支店、みらい建設工業(株)中国支店、りんかい建設(株)広島支店、若築建設(株)中国支店